

昭和45年11月1日No31

なごりをとどめる長崎街道（八幡区黒崎曲里）

9月定例会

九月二十九日から十七日間の会期で開かれ、十月十五日に終わりました。審議された議案は、四十四年度決算をはじめ、四十五年度補正予算、消費生活センター条例、児童文化センター条例の一部改正、人事議案、意見書など六十一件と諮問一件です。これらのうち、

人事議案、意見書は即決されましたが、決算関係議案は決算特別委員会で、その他の議案は常任委員会で、それぞれ慎重に審議されたのち、六十件を可決、一件は否決されました。また、諮問についても支障ない旨回答することになりました。

認定を決算各年度

975億円

四十四年度各会計の決算が九月二十九日の本会議に上程されました。

この日の本会議では、三人の議員の質問があったのち、議員全員で構成する決算特別委員会を設けて、くわしく審議することを決めました。

委員会では、六日間にわたって収支が法律にしたがって正しく行なわれているか、また行政効果などについて慎重に審議したのち、次の要望を付けて決算は正當なもの認めました。

十分な配慮を

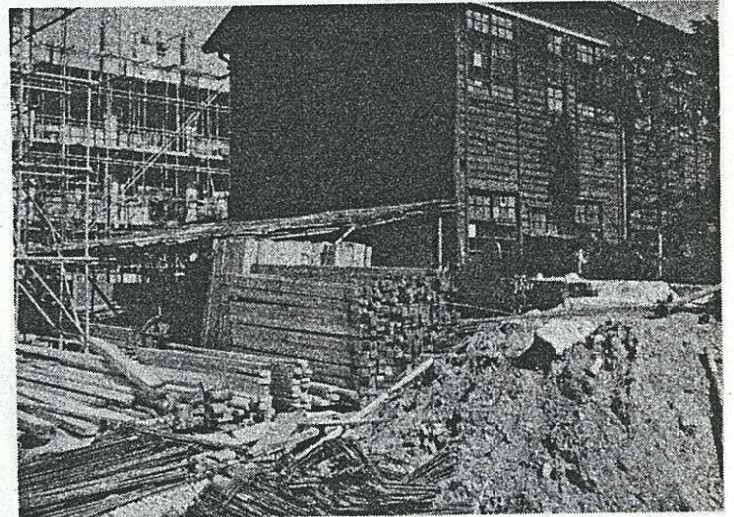
校舎増改築工事

校舎を増改築するにあたって、すでに完成している教室が工事のために使用できないといった実情がみられるので、このようなことのないよう十分配慮すること。

修繕費の増額を

市営住宅

市営住宅の管理戸数は一万五千戸にも達しているが、戸数に比して四十四年度の住宅修繕費は九千七百万円に過ぎないので、市が負担すべき修繕を十分に実施するためにも、関係予算の増額について努力すること。



建て替え中の校舎

効果的な財政運営を

地方交付税・市税

地方交付税が伸びているのに、年度途中で補正されていない。

交付額が決定した段階で早く予算化し、効果的な財政の運営を図ること。市税、特に軽自動車税については、滞納を少なくするために納税義務者の異動を的確に、把握できるような方法を検討すること。また、経費節減などによる不用額が出ているが、年度途中で事業を変更したり中止したときは、

補正して他の事業に繰り入れるなど予算の効率的な運用について十分な配慮をすること。

漏水防止

対策を

本市の水道の有収率は四十四年度で六九・四パーセントと他都市にくらべて低く、この有収率を上げることが強く望まれている。この解決方法として、特に老朽管の計画的な取り替えや、施設の改良あるいは水道パトロールカーの採用など、漏水対策を強化すること。

また、赤水対策、未給水地区の解消についても一層の努力をすること。

防火体制の完備を

近年、火災による被害が増大しているため、消火栓、貯水槽の保全点検を行なうとともに、必要水量を確保するための老朽配水管の

整備など十分検討し、防火体制に万全を期すること。

積極的対策を

畜産 公害

現在、市街地周辺で特に養豚、養鶏による畜産公害が深刻化している。この防止対策として市は、このような業者に対して融資や施設整備に対する補助を行なっているが、業者が零細経営であること、また、移転先の用地の確保がむずかしいなど、その成果が上がっていない。そこで、これらの制度が十分活用されるよう業者に対して指導助言を行なうとともに、畜産団地造成の構想についても積極的に取り組み、また、市街地域での畜産の規制などについても十分検討すること。

農作物の被害調査を

公害 対策

降下ばいじんの拡散、水銀やカドミウムなどによる農作物への影響は、市民に大きな不安を与えているが、これらの被害調査も十分に行なわれていないのが現状である。

したがって、農作物の被害状況調査を早急に実施するとともに、カドミウム、水銀の測定器の購入などについても検討し、その対策に万全を期すること。

昭和44年

総決算額

決算の概要

■一般・特別会計

一般会計の決算額は、歳入548億9,400万円、歳出517億4,900万円、差し引き31億4,400万円の黒字となっています。

また、国民健康保険特別会計など19特別会計の歳入合計は334億1,600万円、歳出合計327億7,300万円、差し引き6億4,200万円の黒字となっています。

両会計を合わせると形式的には37億8,700万円の黒字となりますが、事業の繰り越しに伴い翌年度に繰り越す財源を差し引くと、実質35億3,400万円の黒字となり、前年度に比べ27億7,000万円も黒字が増加しています。

■企業会計

上水道、交通および病院の3企業は、いずれも再建企業として前年度に引き続き体質改善を図っており、各企業とも計画どおりに進んでいます。

上水道事業会計—有収水量の大幅な増加や合理化などによる経費の節減により、4億3,800万円の黒字を出し、前年度末の6億4,900万円の不良債務は2億1,100万円となっています。

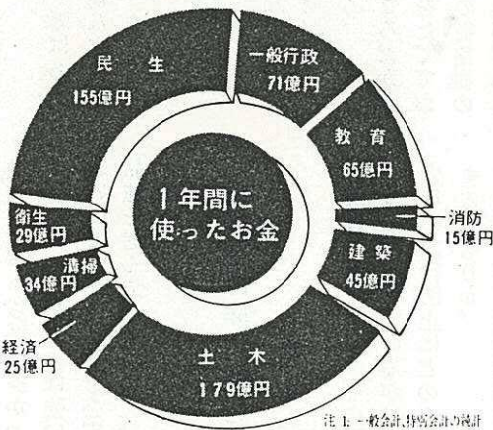
交通事業会計—2,000万円の資金不足となっていますが、これには再建債の償還金1億1,300万円が含まれていますので、実質は9,300万円の黒字を出したことになり、前年度末の10億8,300万円の不良債務は9億9,000万円となっています。

これは料金収入の減にもかかわらず合理化などによる経費節減と一般会計からの援助によるものです。

病院事業会計—1,400万円の資金不足となっていますが、診療報酬の改定および企業努力などにより、前年度までの大幅な不足額と比べますと、その幅も小さくなり好転しています。

44年度末の不良債務は16億6,200万円となっています。

工業用水道事業会計—第2次工業用水道事業も全部通水することになり、第1次工業用水道事業とあわせて200万円の黒字となっています。



空気清浄器を早急に

公害対策として、現在、城山小学校など極度の汚染地域の公害校に空気清浄器を設置しているが、児童・生徒の健康を守るため、早急に公害を受けている、他の学校にも設置すること。

また、公害防止施設を完備した「公害モデル校」の設置を検討すること。

持家政策の推進を

市営住宅の入居者は、現在固定化の傾向にあり、特に収入が入居基準を越えている者に対しては退

去の措置が望まれるが、このような事態は住宅の自力建設が困難なためとも思われるので、自力建設を促すために、マイホームローンの金利の引き下げや償還年限の延長などについて検討すること。

医師、看護婦の確保を

市立病院

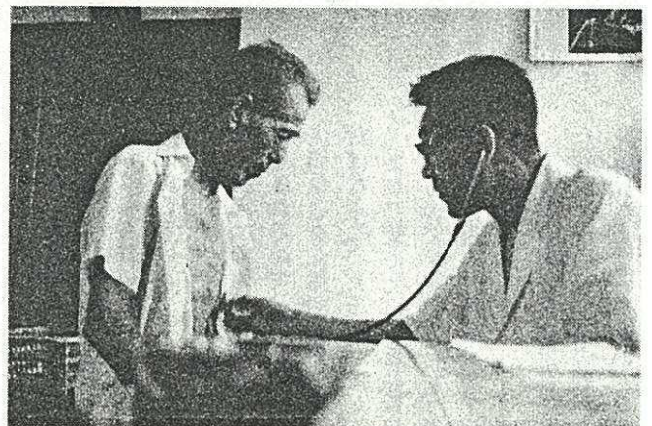
市立病院は、市民に信頼される総合医療機関であるために、その設備の充実とともに、医師、看護婦の確保が急務であるが、なかでも各病院とも医師、看護婦の確保に苦慮しているため、諸条件を改善して総合病院としての機能を充

老人検診の

P・Rを

市民の健康維持については、近年積極的な方策が強く望まれている。特に、四十四年度の老人検診の受診率は、十七・三パーセントと低く、なお多くの希

実させ医師、看護婦の確保に努めること。また、市立高等看護学院卒業生の、市内での就職率が低いのが、せっかく市費で養成しているのに、卒業生の定着化に努めること。



老人検診

望者の受診もれがあるとも考えられるので、老人検診をはじめ、市民に対する保健予防の実施にあたっては、十分P・Rして受診率を高め、市民の健康維持と保健予防に努めること。

道路整備を

私道と市道

消防車や清掃車が利用する公共性の強い私道については、市道に認定しないまでも市民の交通の便を図るため、この道路の整備について積極的な措置を講じること。また、市道認定は年一回に限らず、必要に応じて実施すること。



十月八、九日の二日間、市政全般についての質問が本会議で行なわれました。以下、市民生活に関係の深いものから取り上げました。

市内幹線道路の整備を急げ

議員 市内の幹線道路のうち、特に整備が遅れていると思われる次の道路について伺いたい。

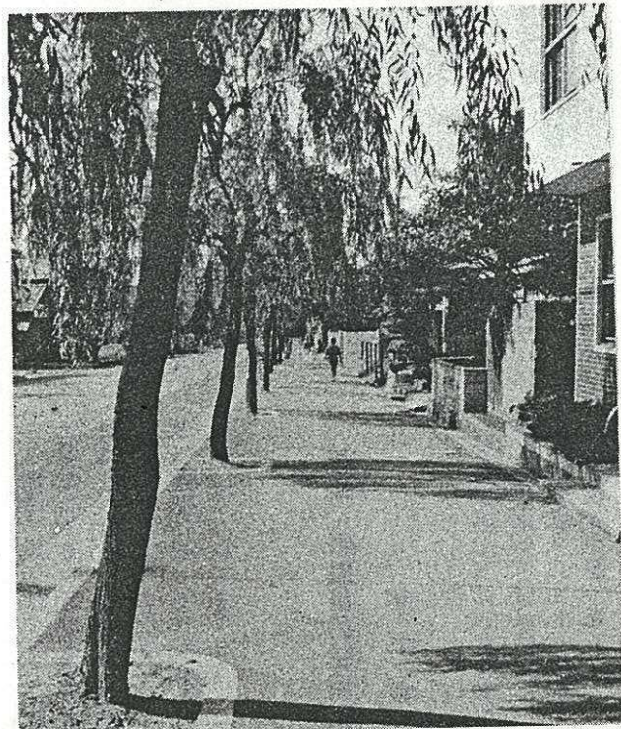
①国道一九九号線の日明～浅野町間の交通混雑は今でも激しいのに、今後、門司～小倉間が開通した場合、もっとひどい交通マヒが起ることが予想される。

この対策として、どんな計画を考えているのか。

②門司～刈田線はダンプカーなどの大型車がひんばんに通行するのに、道幅もせまく歩道もない。これでは歩行者も安心して通れないが、この道路の拡幅計画はないのか。

また、幹線街路五号線(門司区春日町～国道一〇号線間)は、いつから着工するのか。

市長 ①国道一九九号線のうち、特に日明～浅野町間については、将来の交通量を考え六車線に



街をうるおす街路樹

歩道を作ることにし、すでに人家のないところから先に工事を進めている。

幹線街路五号線の計画はあるが、具体的な着工の時期などはまだ決めていない。

台風に強い街路樹を

議員 さる八月、北九州を襲った台風で、市内の街路樹が二千本以上も無残に倒れている。

九州は台風の多いところだから日ごろから万全の対策をたてておかねばならないが、この街路樹の品種についても選定の必要があるのではないか。

また、この選定にあたっては、公害に強い品種も考慮すべきと思うがどうか。

市長 さきの台風で、約二千五百本の街路樹に被害が出たが、このうち柳がいちばん多かった。

この柳は、公害には強いが風に弱いので、今後は風と公害に強い品種を選んで、順次植え替えていきたい。

青少年の非行防止に

抜本策を

議員 最近、青少年の犯罪が目だって現われているが、これら青少年の非行防止にどのように対処するつもりか。

市長 青少年の非行の原因は、家庭的、社会的環境など、いろいろあると思う。

したがって、市独自の活動だけではこの解決はむずかしいので、今後は、関係機関との十分な連絡はもちろんのこと、非行の早期発見と補導の徹底、社会環境の整備など、あらゆる角度から取り組んでいきたい。

消火に必要な

水圧を保て

議員 九月二十一日発生した八幡区清田町の火災は、消火栓の水圧が低いため大きくなったと地元の人はいっている。

消防局は火災になると水道局と連絡をとり、バルブ操作をして水圧を上げ、消火に支障のないように

にしているというのに、どうしてこのような苦情が出るのか。

消防局長 消火栓については、水道局と連絡をとりながら消防活動に必要な水圧の保持に努めている。

清田町の場合、消火に必要な水圧が保持されていたが、同じ水道管からポンプ数台が同時に取水したため、水の出ない結果になったのだと思う。

今後、このことを強く反省しながら、市内全般にわたって消火体制の万全を期したい。

小倉駅周辺の

再開発を

議員 山陽新幹線が開通すれば小倉駅の乗降客も大幅に増加することが予想される。

そこで、小倉駅前の再開発を急がねばならないが、どんな構想を考えているのか。

市長 小倉駅の利用客が、新幹線の開通に伴って増加することが見込まれるので、現在の狭い駅前広場などを立体的に再開発しなければならぬだろう。

また、駅の北口に新幹線の駅ができるので、それに合わせた街路計画など根本的に練り直す必要があると思う。

国鉄でも駅の改造計画を立案中とのことなので、市の計画もこれに織り込んでいきたい。

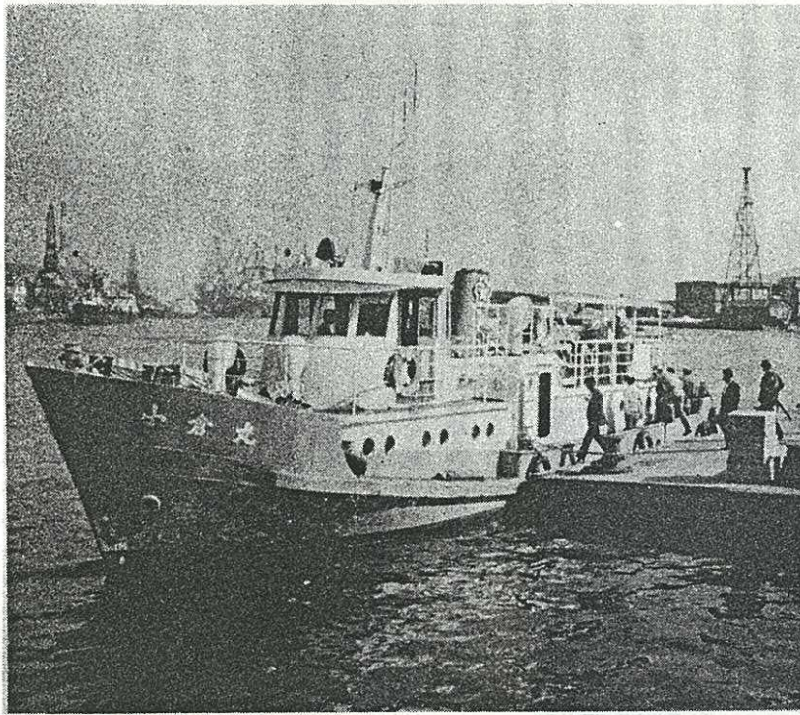
離島渡船の増便を図れ

議員 離島対策について次のことを伺いたい。

①藍島・馬島への渡船の運航回数は平日二往復だが、これをもう一往復増便できないのか。

②最近、化学消防艇が藍島に停泊することが多いが、島で発生する救急事故に同艇を活用してはどうか。

③藍島小学校の電話は、赤電話



離島への連絡船・小倉丸

のため不便である。これを普通電話に切り替えることはできないのか。

経済局長 ①渡船の増便については、現在、平日の乗船率が低いので、増便の考えはないが、利用者の傾向をみて、将来、増便を検討したい。

消防局長 ②人命救助は当然消防の任務であり、離島での救急事

故の発生には、消防艇を活用したい。

教育長 藍島小学校の赤電話を普通電話に切り替えることは、回線の都合で困難である。これは電電公社の関係もあるので、今後とも努力はしていきたい。

調査費を国に陳情

へドロ対策

議員 洞海湾のへドロ対策について国に陳情しているが、その際示した市の計画案は実行可能なものか。

市長 洞海湾のへドロを湾内で処理する計画案をたてたが、へドロのしゅんせつははじめてのこと、計画がはたして実行可能かどうか緊急に調査する必要から、調査費を出して欲しいと陳情した。

調査の方法、経費などについて北九州港管理組合、運輸省第四港湾建設局と打ち合わせを行なっている。

舗装は本年度中に実施

沼団地内幹線道路

議員 小倉区沼団地は、雨が降り続くと土砂が流れ出し、周辺の田畑に流れ込み、農民にたいへん迷惑をかけている。

また、団地内道路は舗装されて

いないため「くぼみ」が多くでき、車の出入りはもちろん、歩行することさえ困難な状態であるが、これらの対策はどのように考えているのか。

助役 田畑の被害については、実態を調査したうえで、補償を考えたい。

また、団地内道路のうち、幹線道路の整備は、ガス管等の埋設工事が終わったので、本年度中には舗装を完了したい。その他の道路についても、砂利を敷くなど住民に迷惑のかわらないよう万全の措置をとりたい。

強力な市民運動を

山田弾薬庫の返還

議員 新聞によると、山田弾薬庫は自衛隊があとを引き継ぐと報道されている。

しかし、同弾薬庫の平和利用は市民の願いでもあり、今後、市長はこの返還について、国にどんな働きかけをするつもりか。

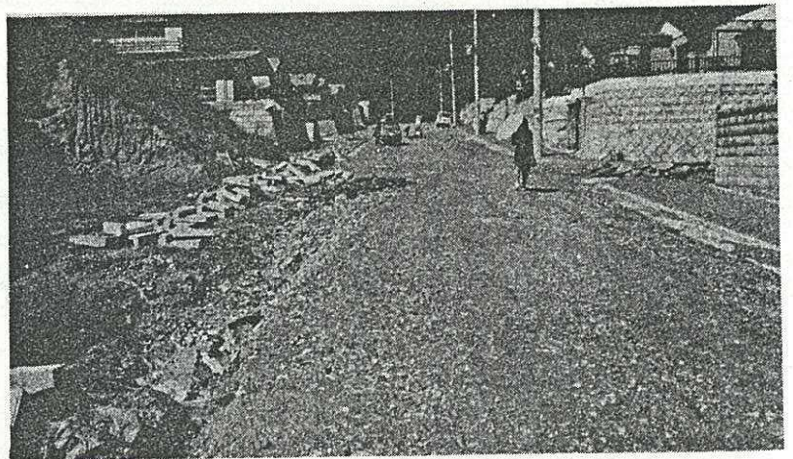
また、返還のための幅広い市民運動を起こす考えはないか。

市長 山田弾薬庫は西日本最大

の弾薬庫なので、早期返還は期待できない状態であった。

しかしながら、米軍から同弾薬庫の機能停止という発表があったので、この時期こそ返還のチャンスだと思っている。

したがって、今後とも地元出身の国会議員にも協力を要請するとともに、強く返還について国に働きかけたい。



整備される沼団地

改築工事は十月に着工

小倉養護学校

議員 小倉養護学校について次のことを伺いたい。

①校舎改築の第一期工事が遅れている理由はないか。

②現在は中学部までしかないの、高等部を設置してどうか。

③校舎改築に伴う児童数の増加によって現在のスクールバス三台では不足すると思うので、一台増車してどうか。

また、現在のバスは老朽車なので新車に替えることはできないか。

市長 ①国庫補助の基準改定に伴い、改築工事の設計変更が行なわれたため遅れたわけで、十月中には着工する。

②高等部の設置は、県との関係もあるが、前向きで検討したい。

③今後、児童数の増加に伴ってスクールバスの増車の必要があれば応じたい。

また、車の更新については、交通局と検討する。

武道館の設置を

議員 市内の武道場の利用者は定員を上廻る程の人数があるが、これを各区分ごとに設置できないか
また、武道大会を行なう場合、民間企業の施設を借りて開催しているが、総合的な武道館のような

施設を設置する考えはないか。

市長 八幡区香月に設置した武道場は非常に人気がよく、増築を考へねばならないと思っている。

また、これを他の区にも設置する場合、武道場のみがよいのか、それとも他のクラブ活動にも利用できる兼用の施設がよいのか、今後検討したい。

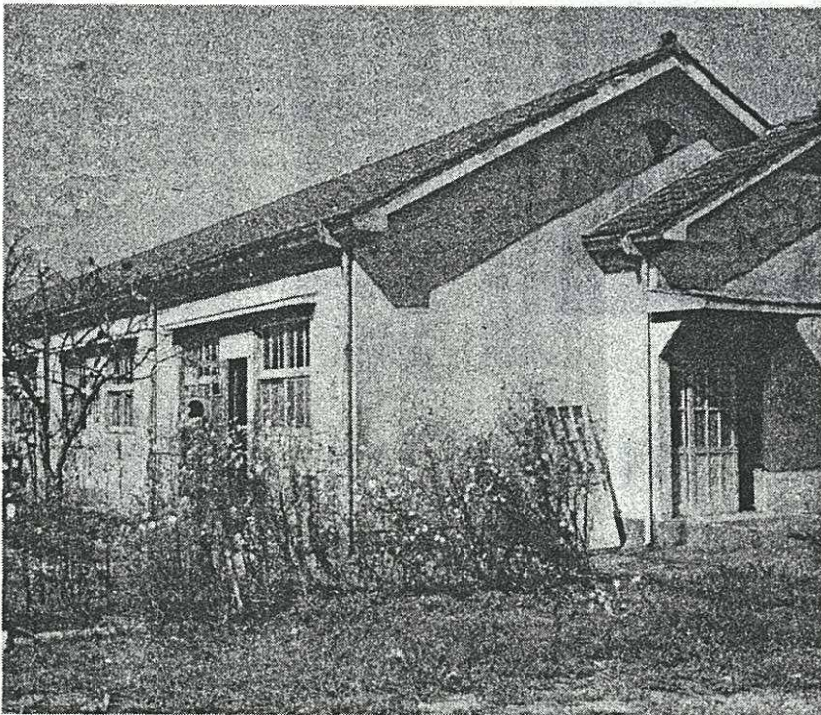
なお、中期計画で総合屋内体育館を建てることにしているの、総合的な武道館はこれに付置したいと考えている。

廃止する考えはないか

競輪競艇事業

議員 さきに起った門司競輪場の暴徒事件ほど、市民に不安を与えたものはない。

世論もこの公営ギャンブルについて廃止の方向に傾いていると思われるし、市長もこれに財源を求めることは好ましくないと認めているのだから、いまずぐ廃止できないにしても中期計画の中で、廃止の年次計画ぐらい示してはどう



改築される小倉養護学校

か。

市長 この問題は国において措置されなければ、単に北九州市だけで解決できないのではないかと思う。しかし、

国が全国的な傾向を見て方向転換することにもなれば、中期計画にかかわらず、競輪競艇事業の在り方を改革することもあり得ると思っ

老人対策を

推進せよ

議員 老人問題について次のことを伺いたい。

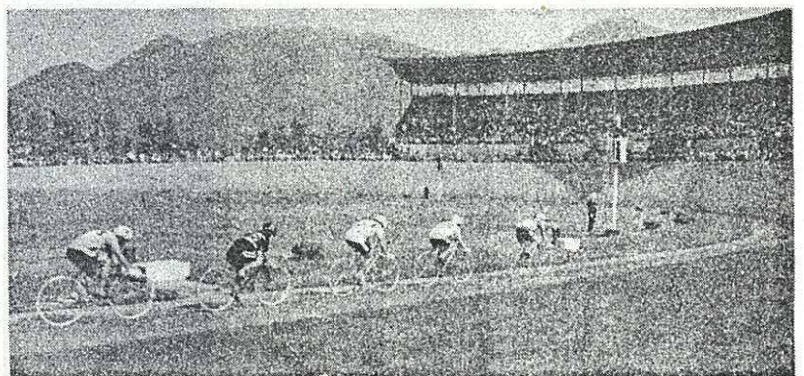
①老令福祉年金の抜本的改正について国に強く働きかける考えはないか。

②七十才以上の老人の医療費は無料にできないか。

③ホームヘルパーは週一回しか家庭訪問できないとのことだが、すくなくとも週二回訪問させるべきと思うがどうか。

④特別養護老人ホームは市内に一か所、定数五十人に対し現員百八人という状況であるので、早急に増設すべきと思うがどうか。

市長 ①市長会を通じて年金の引き上げを要求しているが、引き続き努力したい。



開催中の競輪

②老人医療費を市で全額負担すると予算上無視できない額となり、財政硬直化の原因にもなりかねない。

ことしから始めた老人性白内障治療のように、老人特有の病気については、医療費を市で負担するという制度の拡大を検討したい。

③ホームヘルパーは老人に非常に感謝されている。今後、人数を増やすよう努力したい。

④特別養護老人ホームの建設は中期計画に予定している。

常任委員会から

各常任委員会では、市長提案による補正予算、条例の制定など二十六議案を審議しましたが、次のような要望を付けて、いずれも原案のとおり可決しました。

また、議員提案による公害防止条例の全部改正案についても慎重に審議を行ないましたが、否決されました。

新中央卸売市場の建設推進を

建設推進を

新中央卸売市場開設のため、現在、新市場開設準備委員会を設置し検討していますが、種々の問題で着工の遅れも予想されています。

経済交通委員会では、生鮮食品品の流通機構の整備など、市民の食生活にとって大事なことであり、今後、業者の育成、指導などを積極的に行なうための予算措置をとって、新市場の建設を推進するように要望しました。

くし尿の完全収集を

市内におけるごみ収集率は週二回り九パーセントと完全に近い状態ですが、し尿二〇日どりの収集率は低くなっています。

衛生水道委員会では、この原因が地理的悪条件などの諸要因にあると思われるが、市民の要望があるので、機材の充実を図り綿密な

計画のもと収集の完全を期すよう、また、し尿の海洋投棄は、海水汚染の現状から考えて、なるべく早い時期に廃止するようあわせて要望しました。

無料化の方向で

検討せよ

宇宙科学館

十二月に開館する宇宙科学館の入場料案が示されました。

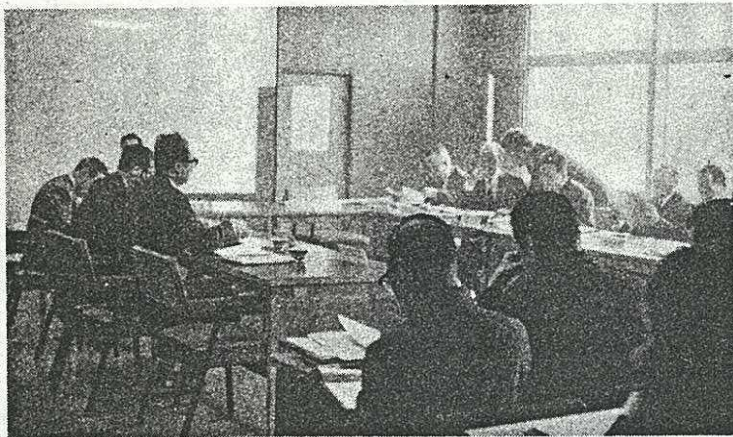
文教委員会では、教育の一環としての施設である以上、無料とすべきではないかとの意見もありましたが、当局から、学習計画に基づく場合は無料であるが、全面的に無料とすることは困難であると

の答弁がなされました。したがって委員会では、他都市の状況を考えるときやむを得ないが、運用上で十分配慮することにも将来、他の社会教育施設をも含め無料化の方向で検討されるよう要望しました。

決議・意見書

9月定例会で、次の決議・意見書が可決されました。

- 一般旅券の発給申請および交付に関する意見書
海外渡航に関する一般旅券の発給申請および交付事務を市長において事務できるよう要請するため。
- 環境衛生金融公庫法の運用に関する意見書
環境衛生金融公庫の融資手続きの改正を要請するため。
- 水難救護法の改正に関する意見書
- 超過負担解消に関する意見書
- 保育所建設整備費国庫補助の増額に関する意見書
- 食糧管理制度の堅持等に関する意見書
- 北九州港の残存機雷完全撤去等に関する意見書
- 高令失業者等就労事業実施に関する意見書
- 運賃値上げに反対し、市民サービス向上を要望する決議



審議中の委員会

議会

市議会は、みなさんから選ばれた六十四人の議員で構成されており、常に市政を見守り、そのあり方、進め方の基本を決めています。

本会議

本会議には、定例会と臨時会があります。定例会は、二月（または三月）、六月、九月、十二月の四回開かれます。臨時会が必要なとき、またはあることからに対して半以上の議員から市長に招集の請求があったとき開かれます。

委員会

重要な案件を、くわしく審議するために、専門の委員で審議し、自由に十分な討議をすることによって、審議の能率化を図るものです。しかし、最後の決

定はあくまでも本会議で行なわれます。委員会には、常任委員会と特別委員会があります。本市の場合は、次のとおりです。

総務財政委員会	十一人
民生消防委員会	十一人
衛生水道委員会	十一人
経済交通委員会	十一人
建設委員会	十一人
文教委員会	十一人
特別委員会	
大都市税財政制度確立特別委員会	十三人
公館害対策特別委員会	十三人
庁舎建設・行政区調査特別委員会	十三人
港湾対策特別委員会	十三人
中小企業振興対策特別委員会	十二人

※特別委員会は、特に必要な場合に設けられるものです。

請願と

陳情



請願

採択されたもの

市営アパート窓枠の取り替えについて(八幡区本町)

水道管敷設について(若松区二島石走)

ガードレール設置について(門司区新原町西の2)

公立保育所設置について(門司区新原町)

食管制度堅持等について

工用仮橋の使用について(小倉区山路大平)

ガードレール設置について(小倉区山路大平)

老人集会所設置について(戸畑区福柳木)

神上橋の改築について(小倉区上到津本町)

人事紹介

九月定例会で、次のかたが決まりました。

(敬称略)

固定資産評価員

岩田 熊一

緊急就労対策事業の延長と枠拡大について
三萩野(黄金地区)再開発促進について(小倉区)

母子栄養食品の完全実施について

公衆電話設置について(八幡区日吉台団地)

老令年金の引き上げについて

小倉養護学校第二期工事について

小倉養護学校スクールバス増車について

不採択になったもの

市立第二松寿園施設、給食の改善について

陳情

採択されたもの

道路拡張について(小倉区黒原南町)

道路舗装について(西鉄戸畑営業所前、門司白野江、青浜間、西鉄恒見営業所、浦中間)

ガードレール設置について(八幡区河内線)

街灯照明の改善について

市道認定および道路舗装について(小倉区早稲田町)

道路拡張について(小倉区大手町)

自動しゃ断機設置について(小倉区湯川踏切)

街灯の設置について(八幡区日吉台団地)

人道橋等の設置について(小倉区東清水町)

溝蓋設置について(小倉区泉町)

側溝設置について(小倉区中曽根)

橋の歩道新設について(門司区大川橋)

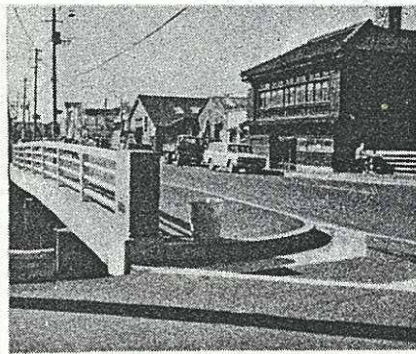
道路整備について(八幡区中尾町三丁目)

北九州港の残存機雷完全撤去による港湾建設作業の安全確保と補償対策の確立について

水不足解消について(小倉区葛原高松地区)

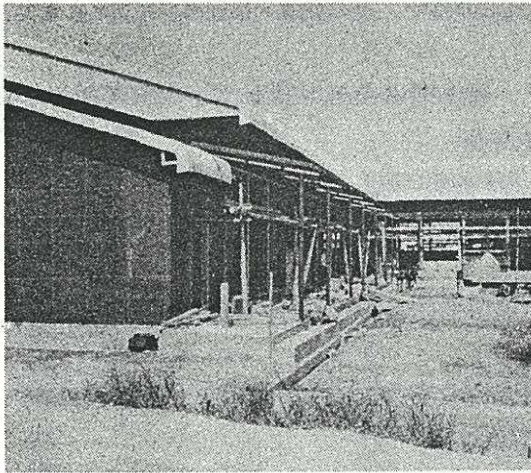
不採択になったもの

雇用(嘱託)更新について



↑拡張された宝来橋(小倉区)

←開所間近い萩原保育所(八幡区)



九月定例会で

決まったおもなもの

▽四十四年度一般会計決算の認定

▽四十四年度普通特別会計決算の認定

(十九会計)

▽四十四年度企業会計決算の認定(四会計)

▽市立児童福祉施設条例の一部改正

門司区 小倉区 小倉乳児保育所

若松区 小石保育所

八幡区 萩原保育所

以上、四か所を新設するもの。

▽消費生活センター条例

戸畑区に消費生活センターを設置するもの。

▽市立児童文化センター条例の一部改正

宇宙科学館の入場料などを決めるもの。

▽駐車場条例

市が設置する駐車場の使用料などを決めるもの

▽土地の取得について

国道一九九号線道路改良工事に伴う道路敷地の取得
小倉区大字赤坂字榊姫三八五番九ほか

六筆
小倉区延命寺地先公有水面埋立地

▽北浜下処理場築造工事請負契約締結

▽国民宿舎めかり山荘の増改築工事請負契約締結

▽四十五年度補正予算
一般会計の追加

三、二四三、八八八千円

普通特別会計の追加
六、〇四二、九〇一千円